

筑後市 本の修繕研修の歩み

令和 8 年 9 月 1 6 日

筑後市学校司書部会

1. はじめに

筑後市学校司書部会では、「継続して研修を行い、市内全校の学校図書館の改善と、学校司書の資質向上をめざしていく」ことを目標に、様々な自主研修に取り組んでいる。そのなかでも「本の修繕研修」は、形式を変えながらも平成 2 9 年度より継続して実施している。今回は、この「本の修繕研修」についてどのように取り組んできたのか、取り組みの一端を報告する。

2. 自主研修形式での共同作業（平成 2 9 年度・3 0 年度）

平成 29 年 4 月の学校司書部会にて、学校教育課課長から「司書の資質向上のための研修と、中長期的視野をもった研修を計画してほしい」と提案されたことをうけ、どのような研修内容を希望するか学校司書部会で意見を集約する。そこで「本の修繕研修」の意見が挙がり、自主研修形式で計画を立てた。当日は、企画研修委員会（筑後市学校司書部会内の、研修を担当する班）が見本として、本の装備の仕方、修繕の仕方を実演した後、各自が持ち寄った本の装備や修繕を行った。

実施後のアンケートでは、「ブックフィルムによる装備を実際に見ることができて、とてもよかった。勉強になった。」「作業をしながら、様々な情報交換ができて、とてもよかった。」「毎年この研修（本の修繕、装備）ができると良い。」と好意的な感想が多く寄せられた。

3. 講師を招いての研修会（令和元年度～令和4年度）

自主研修を続けるなかで、「難しい補修などを習いたい」という意見が出たことを踏まえ、令和元年度より、NPO 法人まなびっと八媛（八女市立図書館内）山田朗子氏、福岡県立図書館職員を講師として招き、以下の内容で修繕研修を実施した。

- 令和元年度 …パンフレット製本方法について
- 令和2年度 …クーターを使った修繕方法について
- 令和3年度 …クーターを使った修繕方法、ミニクーターを使った背めくれ補修について
- 令和4年度 …リンクステッチ、外れたページの綴じこみ、サドルステッチについて

これらの研修では、毎回資料の保存についての講義が行われた。資料をできるだけ長く利用できる状態を保つために、まず予防することが大切だということ。そして、劣化・破損した資料がある時は、すぐに修繕を行うのではなく、その資料の劣化・破損の度合いや、利用頻度、除籍して買い替えなどを検討してから、必要な修繕を行うことを学んだ。この講義について、研修後のアンケートでは「無駄な補修をしないという話にハッとさせられました」「本を大切に扱ってくれるようなルール作りをして、児童と本を繋いでいきたい」という声があり、新たな気づきとなった。



（左図）研修で配布された「資料の補修マニュアル」を、パンフレット製本の方法で綴じ合わせた冊子。

令和２年度より、年度末に、修繕研修で学んだ技術の活用状況についてアンケートを取るようになったが、１～２冊程度と少なく、「自分一人でするには難しかった」「日々の業務に追われ、修繕の時間が取れなかった」と意見も寄せられ、学んだだけになっている状態だった。この現状と、令和４年度の研修をもって修繕技術をひと通り学んだことから、新たな研修形式を模索するため、全校の司書にアンケートをとった。その中で、「これまでの研修を受けていない人、不得意な人もいるので、グループを分けて実施したらどうか」「修繕の本が多い小学校（児童数の多い小学校）を会場校にしてはどうか」という意見が出てきた。これらの意見をもとに、新たな形式の第一歩として、市内で児童数の多い羽犬塚小学校・筑後小学校（※令和４年度時点）を会場校とした自主研修会を実施することとなった。

４． 自主研修形式での共同作業（令和４年度１２月～令和７年度）

会場を２校に分け、自主研修形式で取り組む。会場校や各自で持ち寄った本を見ながら、修繕を行うか、その場合どのように修繕していくか、協議した後に作業に移った。初任者や２～３年目の司書がいるグループは、ブックコートフィルムがけの実演も行った。また、会場校でタブレットと電子黒板を用意し、G o o g l e M e e t（※）を用いてお互いの様子が確認できるようにした。

研修後のアンケートでは、「少人数での作業で、分からないことも気軽に尋ねられた」「１人では自信がないなか修繕を進めていたが、他の司書と確認することで自信をもって進められた」と好評だった。また、研修中にマンツーマンで修繕技術を教える姿も見られた。教わる側は修繕技術を身につけることができ、教える側にとっては修繕技術を伝えるなかで復習することができるなど、お互いにとっての学びにつながった。

自主研修を重ねていくなかで、修繕のことだけではなく、日常の業務で困っていることなども情報交換するようになり、貴重な時間となっている。



5. おわりに

年に1回、継続的に取り組むことで、普段1人で修繕するのが難しい本があっても、「研修の時に相談しよう」という意識になってきている。しかし、自主研修の形式が続いたことで、修繕の仕方が自己流になっている部分も見られるため、正しい技術を身につけるためにどうすべきか、研修の形式を見直す段階にある。

また、修繕技術と同様に大切なのは、汚損・破損本を出さないための「予防」である。本を大切に扱うことについては、児童・生徒と本を結びつける立場にある、私たち学校司書が伝えていかなければならない。そのためにこういった取り組みが有効なのかを、筑後市学校司書部会全員で考えていきたい。

(※) Google Workspace 内の、ビデオ通話機能のこと。筑後市では、学校司書全員に業務用の Google アカウントが付与されている。

筑後市学校司書部会 自主研修紹介①

ビブリオミーティング研修

【研修日】

令和 4 年 7 月 12 日（第一回）/令和 5 年 9 月 12 日（第二回）

【研修地】

筑後市中央公民館

【目的】

○ビブリオバトルのキャッチコピー「人を通して本を知る、本を通して人を知る」を掲げながら、本に関する意見交換と、司書同士の情報・アイデアの共有を目的とする。

○一人ひとりに発言の機会を設け、より気兼ねなく話することができるミーティングとなるよう心がける。

【内容】

令和 2 年度より「ビブリオバトル」の研修を実施していたが、「一人ひとりに発言の機会を設ける」「より気兼ねなく話することができる場とする」ことを目的に、ビブリオバトルを参考にした「ビブリオミーティング」を実施するようになる。

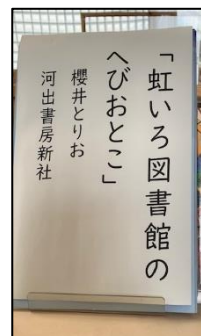
*ビブリオミーティング：biblio（本）と meeting（少人数での会議、集い）を組み合わせた、筑後市学校司書部会独自の造語。

【流れ】

- ① 3 つのグループに分かれ、発表順・司会役を決めたのち、同時に進めていく。
- ② 発表者が本の紹介を行う（4 分間）。
- ③ 発表後、その発表に関するディスカッションを行う（2 分間）。※②と③を繰り返す
- ④ 全員の発表が終了した後に、チャンプ本の投票を行う。
- ⑤ グループでチャンプ本に選ばれた人が、全体の前で発表を行う。

*研修後、紹介した本と発表内容をまとめたレポートを全員に提出してもらい、他のグループの司書が何を紹介したのか分かるようにした。

垂れ幕



【準備物】

- ・ 紹介する本
- ・ 書名、著者名、出版社を記入した垂れ幕（A4 サイズ）
- ・ グループ司会原稿
- ・ 発表順決め用のくじ（3セット）
- ・ ビブリオバトルタイマーをインストールしたパソコン1台
- ・ 面だし用ブックスタンド、下敷き用の黒表紙（3セット）

【実施後の感想】（実施後アンケートより抜粋。原文のまま）

- ・ 自分がまだ読んだことのない本をたくさん知ることができて、とても楽しかったです。また、先生方のおすすめの本に対する愛と熱意もとても伝わってきて参加できて良かったなと思いました。
- ・ 小グループなので何とかそこまで緊張せずに発表できました。
- ・ グループの発表を聞いて「どの本も読んでみたい!」と思ったり「そんな風に考えながら読んでいるんだ」と参考になったりして楽しかったです。

以上の感想からも分かるように、おおむね目的を達成できた研修となった。しかし、「全員の発表が聞きたかった」「他のグループが盛り上がると、自分のグループの声が聞き取りづらい」という意見もあり、課題も残っている。



【筑後市学校司書部会版 ビブリオミーティングルール】

- ①発表参加者が読んで面白いと思った本、おすすめしたい本を紹介する。
- ②順番に1人4分間で本の紹介を行う。時間がきたら、話の途中でもそこで終了すること。
- ③発表後、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2分間行う。
※発表内容で気になった点の追加説明を求めたり、「どの本が1番読みたくなったか？」の判断に必要な質問を心がけること。お互いにとって楽しい場となるよう配慮すること。
- ④全員の発表が終了した後に、チャンプ本の投票を行う。1人1回だけ、自分が一番読みたくなった本に手を挙げる。自分の本以外に投票する。

参考サイト：「知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト」（ビブリオバトル普及委員会）
(<https://www.bibliobattle.jp>)

筑後市学校司書部会 自主研修紹介②

レイアウト変更研修

【研修日・研修地】

羽犬塚小学校（H30 8 月）、松原小学校（H31 8 月）、古川小学校（R2 12 月）
筑後北中学校（R4 7 月）

【目的】

- 児童の安全確保とよりよい環境を提供するために実施する。
- 司書部会で取り組み、情報や技術、技能を共有する。

【内容】

（事前準備）

- ・教職員より、図書館のレイアウトに関する希望・意見を聞き取る。
- ・司書部会にて館内環境についての課題を共有し、その課題を改善するための意見を募る。
⇒上記 2 点の意見・希望を踏まえ、新しい書架配置図案を作成する。
- ・本の除籍を行う。
- ・館内の机、椅子を廊下へ運び出す。

（当日の流れ）

- ①書架配置図案をもとに、書架を動かす。
- ②書架の本を入れ替える。
- ③残りの時間で環境整備を行う。

★羽犬塚小学校・松原小学校図書館のレイアウト変更研修について

以前から館内レイアウトにおいて安全上の課題を抱えていたことと、8 月も勤務のある学校司書が増えたことを受け、実施に動いた。初めての試みというのもあり、事前準備など試行錯誤して進める場面が多かったが、回数を重ねることで、レイアウト変更の進め方や知識を身につけることができた。2 校とも、実施後は児童や教職員から「広くなったように感じる」「児童の様子が把握しやすくなった」と好評だった。

【実施前】



【実施後】



★古川小学校図書館のレイアウト変更研修について

古川小学校の校長（当時）より司書部会に依頼があり、初めて司書部会全員で取り組む。過去2校の経験から、レイアウト変更作業をスムーズに行うためには除籍作業が欠かせないことを確認した。しかし、事前準備を進めていくなかで、除籍作業が滞っている学校が数校あることが判明したため、除籍に関する学習会を行ってから、古川小学校の除籍作業・レイアウト変更研修に取り組んでいった。

10月 「除籍に関する学習会」を実施

→「学校図書館図書廃棄規準」の読み合わせを行う。各校の所蔵状況や自校の標準配分比率を知り、図書の選択・整理・除籍に活かせるようにした。

11月 「除籍作業」

→本の抜き出し、パソコン操作、箱詰めの仕事グループごとにローテーションを組んで行う。計1,518冊除籍する。

12月 「レイアウト変更研修」実施

→2日間にわけて実施する。計9名が参加。

3校目の取り組みということもあり、事前準備から実施まで計画通りに進めることができた。レイアウト変更後は、「新しい図書館みたい」と喜ぶ児童が多かった。一人の力では足りない時も、司書部会の力を合わせれば、できることが広がるということを実感できたのもよかった。

★筑後北中学校レイアウト変更研修について

「レイアウト変更の過程から関わることで、その後の図書館利用や読書活動につなげたい」という会場校の司書の思いから、全校生徒へボランティアを呼びかける。当日は、自主的に参加してくれた生徒や、部活動の生徒が集まり、机・椅子の運び出し・本の移動と活躍していた。レイアウト変更後、1年間の図書の貸出冊数が前年比116パーセントとなり、生徒の読書活動の増加に繋がった。

令和7年度 筑後市学校司書部会 事業報告

月	事業名	事業内容	開催場所
4月	・司書業務に関する学習会（4/1）	新規採用者を対象に、筑後市の図書館業務について学習会を行う。	筑後中学校
	・班長会会議（4/16） ・司書部会定例会（4/24）	毎年4月の定例会では、学校教育課課長・市立図書館館長、職員も出席している。	筑後市役所
	・蔵書点検		筑後南小学校
5月	・市立図書館団体貸出選書 1学期1回目（5/13、14）	学期ごとに、筑後市立図書館より本を借り受ける。	筑後市立図書館
	・司書部会定例会（5/20）		古川小学校
6月	・古島小、下妻小（R6.3閉校）の蔵書の譲渡会（6/11）		古島小学校 下妻小学校
	・県SLA全体研修会、講演会（6/20）	※8名参加。	アミカス
	・班長会会議（6/23）		筑後市役所
7月	・小学校読書会、ボランティア代表者会議（7/1）	学校司書部会から代表2名が参加している。（年3回）	筑後市立図書館
	・市立図書館団体貸出選書 1学期2回目（7/9）	※希望校のみ。	筑後市立図書館
	・第1回司書部会研修会（7/15） 「読書イベントに関する情報交換会」	勤務校で実施している読書イベントについて発表を行う。	筑後南小学校
	・「子どもの力 図書館のためのブックフェア2025」への参加（7/22～25）		久留米シティプラザ
	・蔵書点検		水洗小、古川小、 西牟田小、筑後北小、 二川小
8月	・蔵書点検		筑後小、松原小、 羽犬塚中、羽犬塚小
	・班長会会議（8/25）		筑後市役所
9月	・第2回司書部会研修会（9/16） 「本の修繕研修」	児童数が多い小学校2校に会場を分け、本の修繕を行う。	羽犬塚小学校 筑後小学校
	・学校司書部会全体研修会（9/17）	※8名参加。	アミカス
	・市立図書館団体貸出選書 2学期1回目（9/30、10/1）		筑後市立図書館

令和7年度 筑後市学校司書部会 事業報告

月	事業名	事業内容	開催場所
10月	・令和7年度南筑後地区子どもの読書活動応援隊研修会（10/7）	希望者は出張扱いで参加。	南筑後教育事務所
	・小学校読書会、ボランティア代表者会議（10/14）		筑後市立図書館
	・絵本カーニバル選書、展示（10/29）	筑後市立図書館のイベント「絵本カーニバル」に、学校司書部会で参加する。テーマに沿った本を選書し、決められた場所に展示する。	筑後市立図書館
	・班長会会議（10/31）		筑後市役所
11月	・司書部会定例会（11/11）		筑後北小学校
	・筑後地区学校図書館協議会講演会（11/18）	講演：「読み手と書き手をつなぐ 編集者としての想い」 講師：童心社副編集長 永牟田 律子 氏	サザンクス筑後
12月	・市立図書館団体貸出2学期2回目（12/10）	※希望校のみ。	筑後市立図書館
	・班長会会議（12/22）		筑後市役所
1月	・図書システムのバージョンアップに伴う操作研修会（1/8）	Teamsを用いて、富士通JAPAN株式会社より図書システムの操作に関する研修を受ける。	各学校
	・司書部会定例会（1/13）		筑後北中学校
	・市立図書館団体貸出3学期1回目（1/20, 21）		筑後市立図書館
2月	・蔵書点検	図書システムと蔵書点検の機材が新しくなったことに伴い、司書部会内で蔵書点検を担当する班長が実施した。	筑後北中学校
3月	・小学校読書会、ボランティア代表者会議（3/11）		筑後市立図書館
	・班長会会議（3/13）		筑後市役所
	・司書部会定例会（3/23）		筑後市役所

筑後市学校司書部会 研修一覧(令和2年度～令和7年度)

年月日	研修名	開催場所	内容
R2.6.16 7.14 10.20	ビブリオバトル研修	水洗小(6.16) 筑後中(7.14) 古川小(10.20)	発表者グループを3つに分け、ビブリオバトルを行う。
R2.9.15	「本の修繕方法を学ぼう！」 講師:山田朗子 氏 まなびっと八媛(八女市立図書館内)	筑後市役所	
R2.10.20	除籍に関する学習会	古川小学校	*別紙「レイアウト変更研修」を参照。
R2.11.17	古川小図書館の除籍作業	古川小学校	
R2.12.15 16	古川小図書館 レイアウト変更研修	古川小学校	
R3.6.15 7.13 12.14	ビブリオバトル研修	筑後市 中央公民館	R2と同様の形式で実施する。
R3.11.16	「本の修繕方法を学ぼう！」 講師:山田朗子 氏 まなびっと八媛(八女市立図書館内)	筑後市役所	
R4.2.4	Google Meetによる オンライン研修	各学校	司書部会内の班長会の研修として実施する。Google Meetの機能の確認を行う。
R4.7.12	ビブリオミーティング研修	筑後市 中央公民館	*別紙「ビブリオミーティング研修」を参照。
R4.9.28	「本の修繕方法を学ぼう！」 講師:山田朗子 氏 まなびっと八媛(八女市立図書館内)	筑後市役所	
R4.12.13	本の修繕研修(自主研修)	筑後小学校 羽犬塚小学校	
R5.7.4	ICTスキルアップ・ボードゲーム 体験評価研修	羽犬塚中	ICT活用を行っている市内の司書の実践発表/ボードゲームを体験し、評価するという内容で実施する。ボードゲームは福岡県立図書館より借用。研修後に、新聞の活用方法について意見交換会を行う。
R5.7.12	ビブリオミーティング研修	筑後市 中央公民館	R4と同様の流れで実施。研修後、読書月間で実施しているイベントについて意見交換を行う。
R5.12.13	本の修繕研修(自主研修)	筑後小学校 羽犬塚小学校	

筑後市学校司書部会 研修一覧(令和2年度～令和7年度)

年月日	研修名	開催場所	内容
R6.7.2	「ブックトークに関する研修会」 講師:白根 恵子 氏(佐賀女子 短期大学名誉教授)	筑後市役所	東京書籍4年国語にブックトークを学ぶ単元があるが、未経験の司書が多かったために実施する。9月に発表することを見据えながら、ブックトークを基礎から学ぶ。
R6.9.26	ブックトーク発表会	筑後市役所	司書全員、ブックトークおよび本の紹介発表を行う。
R6.12.17	本の修繕研修(自主研修)	筑後小学校 羽犬塚小学校	
R7.2.19	「学校図書館と著作権」 講師:原口 直 氏 (元東京学芸大 こども未来研究 所 教育支援フェロー)	筑後中学校	公益社団法人 著作権情報センター(CRIC)の「学ぼう!使おう!学校での著作権活用セミナー」に依頼を出し、実施する。著作権の基礎知識や、学校図書館で活用するうえで注意することなどを、オンライン形式で学ぶ。
R7.7.15	読書イベントに関する 情報交換会	筑後南小学校	各学校の読書イベントの実践報告を行う。研修前に「聞いてみたい他校の取り組み」についてアンケートをとり、それをふまえて実践報告を行った。
R7.9.16	本の修繕研修(自主研修)	筑後小学校 羽犬塚小学校	
R8.1.8	図書システムのバージョンアップ に伴う操作研修会	各学校	富士通JAPAN株式会社とTeamsを繋ぎ、オンラインで操作方法を学ぶ。

基本の修理セット



①目玉クリップ× 8 個
(クラウン品番CR-MC00-SL)



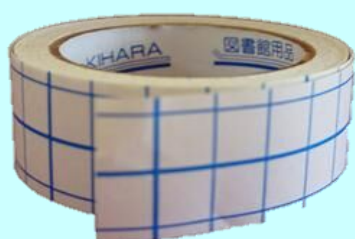
⑦編み棒× 4本
(5.0mm × 2本, No.10 × 2本)



⑧竹串(28cm) × 4本



⑨リード
ホットクッキングシート



②キハラ
ページヘルパーP2
(補修テープ)



⑪絵筆
(ペンテル14号平筆)



③かけへら
(埼玉福祉 45 × 165ミリ)



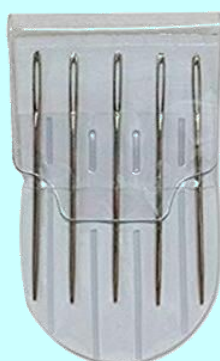
⑫フィルムプラス
(P)



⑩フエキ糊
(でんぷん糊)



④ミツワ ペーパー
センメントソルベント
《シールはがし》



⑤製本針
(5本入り)



⑥麻綴じ糸
(100メートル)



修理マニュアル